

山本のぶこの約束



みなさんと力を合わせてがんばります

地域医療を守ります

- 労災病院は存続を ● センター病院の改築
- 医師・看護師の増員

日本一の子育て支援のまちに

- 3つのゼロ(給食費・子ども医療費・子どもの国保税)の実現
- 不登校児童生徒への経済支援を創設



物価高から暮らしを守ります

- 市独自の物価高騰助成金
- 国保税・介護保険料・ガス水道料金・放課後児童クラブ利用料など公共料金の引き下げ

女性を大切にします

- 生理用品を公共施設の個室に常備 ● 避難所に使いやすいトイレを整備 ● 避難所運営への女性参加

介護への支援を強めます

- 市独自のヘルパー処遇改善制度を創設 ● 在宅介護の支援強化

原発の再稼働を許しません

- 再稼働ストップを知事に求める
- 再生可能エネルギーの活用で原発ゼロの日本に

市民の願いを受け止め、しっかり報告します

- 市民の暮らし最優先の議会づくり
- 議会報告で市民のみなさんにしっかり伝えます

詳しくは、山本のぶこのホームページを御覧ください →



<https://jcpjoetsugindan.webnode.jp/nbk/>

山本のぶこさんを応援します!



吉田洋子さん
(市内在住、絵手紙作家)



山本さんとは平和を願う女性団体で知り合いました。

山本さんがまだ赤ちゃんをおんぶしていた頃、子育てや教育のことに詳しく学童保育の経験もあった山本さんから、色々教えてもらいました。

早くにお母さんを亡くし、お父さんを見守り、寄りそっている山本さんの姿を、私は見てきました。

地域に根ざして活動している山本さんは、きっとみなさんの生活にお役に立ってます。

私も精一杯応援します。



馬場秀幸さん
(県議会議員・弁護士)



山本さんとは小学校のPTAが一緒でしたので、よく知っています。

真面目で誠実で、優しい人です。しっかりとした自分の意見をお持ちです。市民生活を守るいろいろな運動にも参加し、司会や受付など運動の大事なところを根っこのように支えてくれます。

山本さんはいつも笑顔で、会うだけで元気をもらえます。議員になったら、必ず市民のために仕事をしてくれるはずです。私も全力で応援します。



医療・介護・子育て支援に全力

山本のぶこ

日本共産党

上越民報

2025年10月号外 日本共産党の政策と見解を發表します
発行: 日本共産党上越市委員会/上越市五智1-21-12
連絡先: ☎025-543-1890 FAX025-543-1875

いのち、くらしを守りたい。

山本のぶこの決意

私は上越市で生まれ育ち、子育ても介護も経験しました。ともに子育てをしてきた仲間やご近所さんとの会話は、介護のこと、医療のこと、話題は尽きません。もっと安心して暮らせる社会にしたい。政治がやれることは、まだあるはず。高齢者も、若者も、子育て世代も、みんなが安心して暮らせる社会をつくりたいとの思いから、声なき声を市政につなぐ仕事に関わろうと決意しました。いま物価高騰で暮らしが大変です。原発再稼働、公立・公的病院の再編と病床削減、戦争する国づくりでなく、いのちと暮らしを守る政治へ。みなさんの声をまっすぐ市政に届けてがんばります。ご支援よろしくお願いします。

平和を求める
行動は、私の
ライフワークです

プロフィール

1964年上越市生まれ／新潟大学教育学部卒／心身障害児・者施設勤務／学童保育指導員／放課後児童クラブ勤務員／小学校介護員／現在、日本共産党上越地区常任委員、上越地区子育て・介護対策責任者／趣味：読書、観劇、折り紙、けん玉／家族：夫、2男1女 愛犬ブッチー／上越市仲町2在住

山本のぶこの あゆみ



私は、上越市(旧高田市)でレントゲン技師の父と専業主婦の母のもとに、2人姉妹の長女として生まれました。

「戦争はダメ」が私の原点

本を読むのが大好きで、戦争を伝える児童文学では「ガラスのうさぎ」を覚えています。また、「はだしのゲン」の実写映画を父と観に行きました。今の「戦争だけは絶対してはいけない」という思いにつながっています。



学童保育の運動の中で日本共産党に

大学卒業後、新潟市で学童保育の指導員になりました。学童保育の制度化をもとめ、保護者とともに署名や市への要請活動に取り組みました。制度化がすすみ、声を上げることの大切さを実感しました。

その活動の中で、信頼する先輩から日本共産党の入党をすすめられ、仲間になりました。



地元に帰ってからの育児は、おやこ劇場、親子リズム(新婦人)、マミーズネットなどで知り合った仲間にも助けられました。いまでもずっと仲良くさせてもらっています。

